

代理人としてマイナンバーカードを受け取る場合

やむを得ない理由により市役所に来庁することが困難であると認められるとき、代理人に対してマイナンバーカードを交付することができます。原則、顔写真付きの身分証明書の提示または顔写真証明書の提出による本人確認が必要です。

<必要書類>

□交付通知書（ハガキ）

裏面の回答書および委任状欄（暗証番号設定欄は必ず目隠しシール貼付）を本人が記入。

□通知カード

紛失の場合は窓口で申し出てください。

□住民基本台帳カード（※過去に作成された方のみ）

□マイナンバーカード（※更新または再交付の方のみ）

□申請者（本人）の本人確認書類（※すべて原本）

「A から 2 点」または「A と B から各 1 点」または

「B から 2 点と顔写真証明書」

- ・顔写真証明書：申請者が 15 歳未満の者、長期で入院している者、介護施設等に入所している者、訪問介護を受けている者、長期にわたって社会的参加を回避し概ね家庭にいる者に限り、使用することができます。

□代理人の本人確認書類（※すべて原本）

「A から 2 点」または「A と B から各 1 点」

□代理権を証明する書類

○法定代理人・・・戸籍謄本等

（本籍地が綾瀬市または住民票上で親子の確認が可能な場合は不要）

○成年後見人・・・登記事項証明書等

○任意代理人・・・委任状（交付通知書裏面に申請者本人が記入）

顔認証マイナンバーカード*をご希望の方は、「いずれの暗証番号も設定しない」に☒を入れ、目隠しシールを貼付してください。

□来庁が困難であることを証明する疎明資料など

ケース	疎明資料
成年被後見人	登記事項証明書等
中学生、小学生、未就学児	顔写真証明書
高校生、高専生	学生証（顔写真付きのものに限る）
75 歳以上の高齢者	ハガキ裏面に外出困難である理由の記載
長期入院者（概ね 1 か月）	入院診療計画書、診療明細書、領収書、病院長作成の顔写真証明書のいずれか
施設入所者	施設長作成の顔写真証明書
障がい者	障害者手帳、療育手帳、障害福祉サービス受給者証、自立支援医療受給者証のいずれか
要介護・要支援認定者	介護保険被保険者証、認定結果通知書、ケアマネージャーおよびその所属する事業者の長が作成する顔写真証明書のいずれか
妊婦	母子健康手帳、領収書（受診したことがわかる）、受診券のいずれか
海外留学	査証のコピー、留学先の学生証のコピー
長期にわたり社会的参加を回避している者	公的な相談機関が作成する顔写真証明書または相談歴を証する書類

<本人確認書類一覧>

A (※顔写真が貼付され、有効期限内のもの)

- ・運転免許証
 - ・運転経歴証明書（平成24年4月1日以降に交付されたものに限る）
 - ・旅券（パスポート）
 - ・身体障害者手帳
 - ・精神障害者保健福祉手帳（写真付に限る）
 - ・療育手帳
 - ・在留カード（写真付に限る）
 - ・特別永住者証明書
 - ・マイナンバーカード（再交付時や代理人交付時）
 - ・住民基本台帳カード（写真付に限る）
- 等

B (※有効期限があるものは有効期間内のもの、かつ氏名が住民票どおりに記載され、生年月日または住所が記載されているもの)

(例)

- | | |
|---|--------------|
| ・資格確認証 | ・年金手帳／証書／通知書 |
| ・小児医療証 | ・介護保険証 |
| ・各種医療受給者証 | ・生活保護受給者証 |
| ・社員証／在職証明書 | ・官公署の発行した職員証 |
| ・学生証／在学証明書 | ・卒業証書／卒業証明書 |
| ・無線従事者免許証 | ・海技免状 |
| ・母子手帳（出生届出済証明欄に記載された子の本人確認書類として使用可能。出生届出自治体の記入押印必須。保護者の本人確認書類としては使用不可。） | |
| ・預金通帳 | 等 |

<注意事項>

◆お持ちいただく本人確認書類は全て原本である必要があります。

◆次のものは、本人確認として取り扱うことができません。

- ・有効期限が切れているもの
- ・本人確認書類のコピー（原本ではない場合）
- ・氏名や生年月日が住民票の記載と異なるもの

※顔認証マイナンバーカードとは・・・暗証番号の設定や管理に不安がある方の負担軽減のため、暗証番号の設定を不要としたものです。利用できるサービスは、健康保険証としての利用（事前に利用登録をした場合に限る）と顔写真付きの身分証明書としての利用に限られます。マイナポータル、各種証明書のコンビニ交付、その他のオンライン手続きなど暗証番号の入力が必要なサービスはご利用いただけません。